

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-266917

(43)公開日 平成11年(1999)10月5日

(51)Int.Cl.⁶

A 45 C 11/18

識別記号

F I

A 45 C 11/18

D

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全3頁)

(21)出願番号

特願平10-75526

(22)出願日

平成10年(1998)3月24日

(71)出願人 000003159

東レ株式会社

東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

(72)発明者 小島 真壽士

大阪府大阪市北区中之島3丁目3番3号東
レ株式会社大阪事業場内

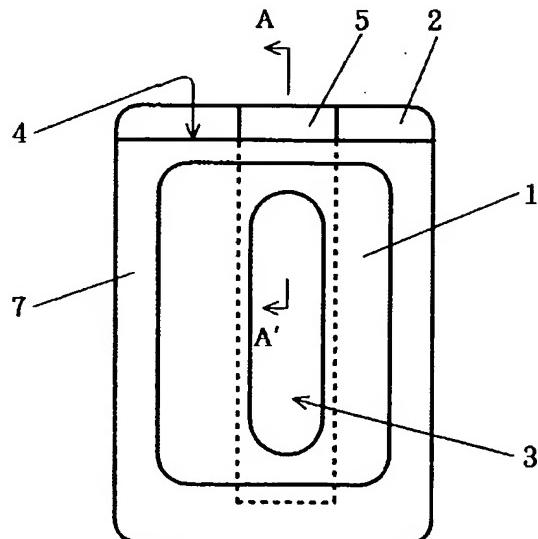
(74)代理人 弁理士 中尾 充

(54)【発明の名称】 カード入れ

(57)【要約】

【課題】出入れがスムーズで、出し入れの他は収納カード類が抜け出さない。

【解決手段】収納ポケットの表側シート1に、指先を直接、収納カード類に触れさせる長孔の切抜窓3が設けられているカード入れにおいて、切抜窓の幅より10ないし25mm広幅であって動摩擦係数が向う側シート(裏側)2の面の1/2を超えない易滑材5を、ポケットの向う側シート面の前記切抜窓に対向する部分にポケット口部分まで接合させる。ポケット口4においては、ポケットの向う側が表側よりも3ないし20mm長いことが望ましい。また、易滑材としては、ポリテトラフルオロエチレンフィルム、あるいはたて糸にポリテトラフルオロエチレン繊維を織り込んだ朱子織が好適である。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】定期券類を収納するポケットの表側シート(1)に、指先を直接、収納物に触れさせる長孔の切抜窓(3)が、ポケット口(4)に対し直角方向に設けられているカード入れにおいて、前記切抜窓の幅に対し10ないし25mmの範囲の広幅であって動摩擦係数が向う側シート(裏側)(2)の面の1/2を超えない易滑材(5)を、ポケットの向う側シート面の前記切抜窓に對向する部分にポケット口部分まで接合させたことを特徴とするカード入れ。

【請求項2】ポケット口(4)においてポケットの向う側シート(2)が表側シート(1)よりも3ないし20mm長いことを特徴とする請求項1または2記載のカード入れ。

【請求項3】易滑材(5)が、ポリテトラフルオロエチレンフィルムであることを特徴とする請求項1または2記載のカード入れ。

【請求項4】易滑材(5)が、たて糸にポリテトラフルオロエチレン繊維を織り込んだ朱子織であることを特徴とする請求項1または2記載のカード入れ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はカードや定期券類を収納し、衣服の物入れやハンドバッグなどに入れて持ち歩くカード入れに関する。

【0002】

【従来の技術】最近、都市部において運輸業の合理化のために、電車の改札口の自動化と定期券を含む磁気記録方式の乗車券への切替えが推進されている。また、各種のカード類が普及し、日常生活においてカードや定期券をカード入れ(定期入れともいう)のポケットから頻繁に出し入れする必要を生じている。

【0003】このため新しいタイプのカード入れでは、ポケットの表側シートにポケット口に対して直角方向に長孔の切抜窓が設けられ、カード入れを片手で持って切抜窓から指先で直接カードを押え、開口部方向にずらせて収納したカード類を押し出し取出せるように工夫されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前記のカード入れは必ずしもスムーズにカード類を出入れすることができなかつた。また、滑りやすい素材を用いたカード入れでは、うっかりカード口を下に向けると収納した厚手のカードがポケットから滑り落ちるという問題があつた。本発明の目的は、定期券類の出入れが気持ちよくスムーズであつて、また出し入れするとき以外に収納カード類がカード入れから滑出しがちがなく、かつポケット口で引掛かるなどのためにカード類が傷付かないカード入れを提供することにある。

【0005】

2

【課題を解決するための手段】前記の課題を解決するために、本発明者はいろんなカード入れを試作し、実用して本発明に到達することができた。以下、本発明の実施形態例を示す図面を参照して本発明を具体的に説明する。

【0006】前記の課題を解決する手段として本発明は、定期券類を収納するポケットの表側シート1に、指先を直接、収納物に触れさせる長孔の切抜窓3が、ポケット口4に対し直角方向に設けられているカード入れに

10 おいて、前記切抜窓の幅に対し10ないし25mmの範囲の広幅であって動摩擦係数が向う側シート(裏側)2の面の1/2を超えない易滑材5を、ポケットの向う側シート面の前記切抜窓に對向する部分にポケット口部分まで接合させたことを特徴とするカード入れを提供する。ポケット口4においては、ポケットの向う側シート2が表側シート1よりも3ないし20mm長いことが望ましい。また、易滑材5としては、ポリテトラフルオロエチレンフィルム、あるいはたて糸にポリテトラフルオロエチレン繊維を織り込んだ朱子織が好適である。

【0007】

【発明の実施の形態】次に、本発明を図面を参照して実施形態例をあげながら具体的に説明する。図1は本発明にかかるカード入れの一実施形態例を示す正面図、図2は図1A-A'で示される縦方向の一部断面拡大図である。

【0008】本発明カード入れのポケットは基本的に表側シート1と向う側シート2とからなるが、表側シート1には前記の長孔の切抜窓3が設けられている。向う側シート2は表面シートに対向して両者は接合されている。カード口4はカード入れの縦、横のいずれかの方向に設けられるが、一般的に長孔の大きさは、カードを縦方向に抜き出す場合、6~15×30~60mm程度、横方向に抜き出す場合、6~15×20~50mm程度である。カード入れは通常、天然または人工の皮革、布帛などの収納物が滑出しにくい素材を用いて作られているが、表面シート部分は図1に示すように周囲を額縁7にして、中の部分に透明なプラスチックシートを用いることが多い。

【0009】さて、本発明のカード入れにおいては、切抜窓3からポケット内に収納したカード類6を指先で軽く押し出すとき、向う側シート2の押圧される範囲に相当する、すなわち、切抜窓3の位置に對向する向う側シート2の位置に、切抜窓3の幅に対し10ないし25mmの範囲の広幅、好ましくは10ないし20mm広幅であつて、切抜窓3に沿つてポケット口までの限定された範囲に易滑材5を接合しておく。試行の結果、易滑材接合範囲が前記の範囲より狭いと、カード類の出入れがスムーズではなくなる。逆に易滑材接合範囲が前記の範囲外におよんでもスムーズであることの効果に大きな変化はないが、滑りがよくなり過ぎて、ポケット口が下を

向いた際などに、とくに厚く重いカード類が不必要に抜け出やすくなり、本発明の目的を達成することは難しい。

【0010】易滑材5は、天然または人造の皮革、布帛などの向う側シート2の面の動摩擦係数の1/2以下であればとくに制限がないが、ポリテトラフルオロエチレンフィルム（例えばバルフロン（日本バルカーワークス（株）製））、あるいはたて糸にポリテトラフルオロエチレン織維（例えばトヨフロン（東レ（株）製））を織り込んだ朱子織が好適である。中でも動摩擦係数が小さなポリテトラフルオロエチレンが好ましい。

【0011】ポケット口4においては、ポケットの向う側シート2が表側シート1よりも3ないし20mm長いことが望ましい。カード類6を直接向う側シート2に当てポケット口4に楽に滑り込ませることができる。カード入れのポケットには、中に仕切板を挿入して一つのポケット中に2枚のカードを両面に別々に収納できるものがあるが、この場合、仕切板が向う側シートの機能をもつことになる。したがって滑り過ぎる仕切板は好ましく

ない。

【0012】

【発明の効果】本発明のカード入れは、向う側シート面が動摩擦係数の大きい部分と小さい部分とから構成され、通常時はカードが抜け出すことはなく、カードを取出す際には指先で切抜窓からカードを易滑材面に押し付け、切抜窓に沿ってポケット口までポケット内のカード類を軽く押し出すことができる。

【図面の簡単な説明】

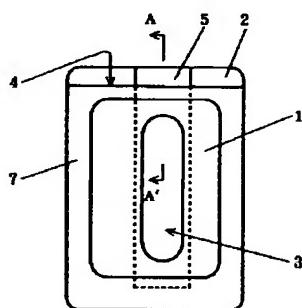
10 【図1】本発明にかかるカード入れの一実施形態例を示す正面図

【図2】図1A-A'で示される縦方向の一部断面拡大図

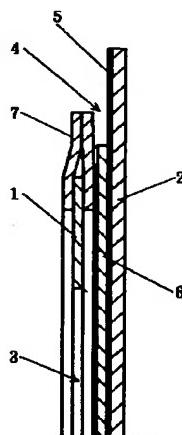
【符号の説明】

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1 : 表側シート | 2 : 向う側（裏側）シート | |
| 3 : 長孔の切抜窓 | 4 : ポケット口 | 5 : 易滑材 |
| 6 : カード類 | | |
| 7 : 表側シート額縁部分 | | |

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP411266917A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11266917 A

TITLE: CARD CASE

PUBN-DATE: October 5, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

KOJIMA, MASUJI N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

TORAY IND INC N/A

APPL-NO: JP10075526

APPL-DATE: March 24, 1998

INT-CL (IPC): A45C011/18

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To smoothly perform take-in and take-out and to prevent housed cards from being discharged other than the take-in and take-out.

SOLUTION: On the front side sheet 1 of a housing pocket, the cut window 3 of an oblong hole for making a finger tip directly touch the housed cards is provided. Then, an easy slipping material 5 whose width is wider than the width of the cut window 3 for 10-25 mm and whose dynamic frictional coefficient does not exceed 1/2 of the surface of an opposite side sheet (back side) 2 is joined to the part facing the cut window 3 of the opposite side sheet surface of the pocket including a pocket mouth part. At a pocket mouth 4, it is desirable that the opposite side of the pocket is 3-20 mm longer than a front side. Also, as the easy slipping material, a polytetrafluoroethylene film or satin into which polytetrafluoroethylene fibers are woven in warp is suitable.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO